

福井工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	生産システム工学演習Ⅱ(E)
科目基礎情報				
科目番号	0026	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生産システム工学専攻	対象学年	専1	
開設期	後期	週時間数	後期:4	
教科書/教材				
担当教員	濱住 啓之, 福嶋 宏之			
到達目標				
ルーブリック				
Achievement 1	Ideal Level	Standard Level	Unacceptable Level	
Achievement 2				
Achievement 3				
学科の到達目標項目との関係				
JABEE JB1 JABEE JC2				
教育方法等				
概要				
授業の進め方・方法				
注意点				
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	2点間の距離を求めることができる。	4	
			内分点の座標を求めることができる。	4	
			2つの直線の平行・垂直条件を利用して、直線の方程式を求めることができる。	4	
			簡単な場合について、円の方程式を求めることができる。	4	
			ベクトルの定義を理解し、ベクトルの基本的な計算(和・差・定数倍)ができ、大きさを求めることができる。	4	
			平面および空間ベクトルの成分表示ができ、成分表示を利用して簡単な計算ができる。	4	
			平面および空間ベクトルの内積を求めることができる。	4	
			問題を解くために、ベクトルの平行・垂直条件を利用することができます。	4	
			空間内の直線・平面・球の方程式を求める能够(必要に応じてベクトル方程式も扱う)。	4	
			行列の定義を理解し、行列の和・差・スカラーとの積、行列の積を求める能够。	4	
			逆行列の定義を理解し、2次の正方行列の逆行列を求める能够。	4	
			行列式の定義および性質を理解し、基本的な行列式の値を求める能够。	4	
			線形変換の定義を理解し、線形変換を表す行列を求める能够。	4	

			合成変換や逆変換を表す行列を求める能够在である。 平面内の回転に対応する線形変換を表す行列を求める能够在である。 簡単な場合について、関数の極限を求める能够在である。 微分係数の意味や、導関数の定義を理解し、導関数を求め能够在である。 積・商の導関数の公式を用いて、導関数を求める能够である。 合成関数の導関数を求める能够在である。 三角関数・指数関数・対数関数の導関数を求める能够在である。 逆三角関数を理解し、逆三角関数の導関数を求める能够在である。 関数の増減表を書いて、極値を求め、グラフの概形をかく能够である。 極値を利用して、関数の最大値・最小値を求める能够在である。 簡単な場合について、関数の接線の方程式を求める能够在である。 2次の導関数を利用して、グラフの凹凸を調べる能够在である。 関数の媒介変数表示を理解し、媒介変数を利用して、その導関数を求める能够在である。 不定積分の定義を理解し、簡単な不定積分を求める能够在である。 置換積分および部分積分を用いて、不定積分や定積分を求める能够在である。 定積分の定義と微積分の基本定理を理解し、簡単な定積分を求める能够在である。 分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分・定積分を求める能够在である。 簡単な場合について、曲線で囲まれた図形の面積を定積分で求め能够在である。 簡単な場合について、曲線の長さを定積分で求める能够在である。 簡単な場合について、立体の体積を定積分で求める能够在である。	4	
人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題について、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞き取れる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取れる。 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図れる。	4	

評価割合

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
Basic Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0